

そよかぜ 10月園便り

令和3年10月1日（金）

西東京市立そよかぜ保育園



緊急事態宣言が明けました。とはいうものの「with コロナ」の生活は変わらないですね。この状況の中、子どもたちの健やかな育ちを保障するために何ができるのか、私たちが考え続けていく大切なテーマだと思っています。

10月16日（土）には運動会があります。

今回改めて「私たちが保護者の皆さんに見てほしいのはどんなことだろう」と職員間で話をしました。園全体ですべての子どもたちの成長を見守り、「一年経てばあんな姿になるんだな」とその成長の過程を見ていただける場にしたいとの思いから、本来であれば0歳～5歳クラスまでが一堂に会して運動会を開催していたのですが、昨年度からは感染症拡大防止の観点から幼児クラスのみでの参加としています。

今年度それぞれのクラスで「これは日々ずっと積み重ねてきた」「これを通して子どもたちがぐっと成長した」「最初はこうだったけれど今ではこんな姿がある」など、特に力を入れて取り組んできたことによる子どもたちの成長の姿を、ぜひ保護者の皆さんに見ていただきたいということで職員の思いが一致しました。

以前からお伝えしている通り、「運動会のために練習を重ねる」「運動会があるから特別に何かをする」のではなく、普段から子どもたちにとって必要な取り組みや活動を積み重ね、意欲を持ってそれに向かって行く姿を見ていただけると嬉しいです。

子どもたちが色々なことに意欲を持って取り組むには、まずどんな時にも自分のやることを信頼して“丸ごと”受け止めてくれる大人の存在が不可欠だと思います。

『見守られていることで安心して自分のやりたいことに挑戦できる』、子どもたちにとってそんな存在でありたいと思っています。

先日こんなことがありました。

私と3歳クラスの担任が廊下で少し長い立ち話をしていたら、担任のことが大好きな男の子がやって来て、私に向かって「返して」と言い、その担任の手を引いて部屋の方へ。廊下の角を曲がる時に振り返り、私に思い切り手を振って「バイバイ」と一言。

せっかく自分の元に帰ってきた大好きな担任とまた話をされちゃかなわないと、私を遠ざけるための渾身の「バイバイ」だったと思います。本当にこの子はこの担任のことが好きなんだな…と感じた瞬間でした。

この男の子は、きっと大好きな担任がどんな時も見守ってくれて、自分のやりたいことが思い切りできているのではないのでしょうか。

運動会では保護者の方が見守る中で、子どもたちがどんな姿を見せてくれるのか楽しみです。お天気になりますように！

クラス通信



新年度が始まってから、早半年…あっという間にもう 10 月ですね。気持ち良い秋晴れの下、伸び伸びと身体を動かしています。

晴れた日には散歩に出掛け、落ち葉に触れたり、バッタを大人が捕まえて見せると「何だろう？」と手を伸ばしてみたり…秋の自然や虫に触れて遊んでいます。

園庭に出てみると、自分からどんどん進んで砂や水に触れる姿が多く見られるようになりました。砂場でカップを使ってケーキを作ってみたり、大きな砂山に登ろうと挑戦！**感触遊び**をして楽しんでいます♪

今月も秋の自然に触れて外で元気に遊んでいきます。

先月は、気持ちいい秋晴れの下で、たくさん戸外に出て遊びました。

暑さが落ち着いてきたこともあり、園庭での遊びは水遊びから、砂遊びへと少しずつ様子変化してきています。とはいえ、日差しのある日にはまだまだ水も使いたい子ども達。水を使いながら**泥団子**や**砂山**を作り、砂まみれ、泥まみれになって全身で遊んでいます。

散歩先ではバッタ探し。バッタを捕まえると、「〇〇も！」と言いながら手を伸ばし、上手に持ちながら皆に見せてまわっています。

これから秋が深まってくると、ドングリや落ち葉など、自然の遊びが目白押しです。たくさん戸外に出かけ、季節の遊びを楽しんでいきます。



少しずつ涼しくなってきた 9 月でしたが、外へ出ると段々日差しも強まり、まだまだ暑い日も。そんな日は思いっきり**泥水遊び**を楽しんでいたすずめ組。砂場に大きなお風呂を作ってうつぶせになり全身泥だらけで喜んだり、タライに水を汲んでお友達と仲良く入ったりと沢山遊びました。

少し距離を延ばしては**な公園**や**団地南公園**へ。新たな道は歩くだけでも様々な発見が沢山！まっぼっくりやどんぐりを見つけては「ママとパパに見せてあげる！」とお土産にしていましたよ。また、最近はずずめ組もバッタブーム！「あそこにいたよ〜！」と追いかけて、サッと自分で捕まえるようになってきました。

10 月も沢山散歩に出かけて思い切り体を動かしていきます！



落合川に行きましたよ。空は“いわし雲”、柿の実、栗、ドングリ、季節はすっかり秋本番に入ってきました。遊歩道を歩きながら川を見ては「さかないかな」「いないね」「どこに行ったの？」と時々覗いています。更に進んでいくと**サギ**を発見！「あ〜、白い鳥がいるよ」「とばないね〜」と話している子どもたちの声を聞いてか、大きな白い羽を広げ高く飛んでいき、その美しい姿に「きれいだね〜」と自然に声が聞こえてきました。感性豊かに成長中です。

広場に到着すると、「暑いから早く川に入ろうよ」「どれどれ、冷たくないか、先に入ってたしかめてくるね」という大人の声をよそに、振り返ると靴を脱ぎ、全員入っていました。足に当たる石の感触に「くすぐったい！」と歓声を上げたり、「流されると**桃太郎**になるよ」と踏ん張っていました。よく歩いた子ども達に体力がついたことを実感した散歩でした。





空はすっかり秋模様。コスモスを見つけて♪コスモス コスモス♪と歌いながら季節を肌で感じています。

9月になり、「今日もお散歩に行けるよ！」と散歩に出掛けられるのが嬉しくて、毎日、みんなで散歩先を決めるのも楽しみになっています。最近、散歩先では『氷鬼』を楽しんでいます。鬼は全速力で走ってタッチし、捕まえたお友達を逃がさないように鬼同士協力しています。逃げる人も鬼の動きを把握しつつ、鬼の視界に入らないように捕まってしまった仲間にとっと近づき助けに行っています。このみんなのドキドキが伝わってきますよ！

ドングリもたくさん拾い、おままごとに使っていますが、もっとたくさん拾って、今度は製作にも使っていきます。どんなものができるかお楽しみに！

8月の終わりに『縄編み』をして一人一人の縄が完成してから、朝も夕方も時間があれば縄跳び！初めは跳ぶことが難しかったですが、繰り返す内に一回、二回と少しずつ跳べるように…連続して跳べるようになると、今度は二跳躍で。今では「ひと〜つ跳んで ま〜た跳んで み〜つめが跳べたなら♪」と歌に合わせてリズムよく連続跳びを楽しんでいます。引っかかることもあります、まずはピアノが終わるまで繰り返し頑張っています。

また、縄は散歩先に行っても大活躍。広い原っぱやグラウンドへ行くと“走り縄跳び”で駆け回っていますよ。

今月は運動会など行事が盛りだくさんなので、またいろいろなお報告をお楽しみに！



10月 園行事

12日（火）運動会リハーサル

14日（木）布団乾燥

16日（土）運動会

19日（火）運動会予備日

22日（金）秋祭り・避難訓練

26日（火）誕生会

28日（木）さんまパーティー

※運動会の詳細は、別途『運動会便り』を発行します。

職員の体制についてのお知らせ

※配布するもののみ、記載しております。

4 園交流 リズム遊び

久しぶりに集まった年長さんたち 「気持ちいいー！」 羽村・レクレーション広場
透き通る青空と心地よい風 夢中で草原の中を駆け回ります。

縄跳びやかかけこ スキップ 広ーい原っぱはどんなに走ってもお友達にぶつかる心配もありません。
もちろん大きな声を出しても「うるさい！！」なんてご近所様にご迷惑をかけることもないのです。

例年ですと月令順にグループを作り、他園のお友達とも仲良くなり、就学に向かう準備の一助とするのですが、感染防止対策もあり、保育園毎で交代することにしました。

順番に「うさぎ」「メダカ」「つばめ」スキップ」…とお馴染みのリズム遊び。他園のお友達の姿を見ながら、

「すごいねー」「かっこいいねー」「早いねー」 他園のお友達の姿に触れ、いつもと違った良い刺激を受けることが出来ました。

密を避け、マスクをして 食事は黙って一人で・・・等規制がいっぱいあり、まだまだ油断できませんが、秋を満喫し、「楽しい！」時間を子ども達とともに重ねていきたいなーと切望したのです。

2階で3歳児クラスのお友達が、リズム遊びをしていたときの事です。

園庭から何やらいい匂いがしてきました。

「なんか いい匂いだよ」「何作っているのかなー」「美味しそうだね」「なにの匂いかなー？」
「お芋？」「カレー？」「焼きそば！」

知っている食べものの名前が次々に上がり、ワクワク ドキドキ 食べる気満々です。

そう 年長さんが草木染をしていたのです。散歩先で集めたヨモギをミキサーで砕き、釜戸でグツグツ それは それはいい匂い。思わず「ゴクン」

年長さんたちは自分で編んだ縄跳び用の縄を入れる袋を染めていたのです。

ちょっぴりガッカリしたうめ組のお友達は、調理さんに、

「美味しいヨモギを入れた草団子を作ってくださいね。」とリクエストしていました。

職員のつぶやき

4月、念願だった保育士になる夢が叶いました。高校は工業科、大学は工学部という寄り道をしましたが、自分が本当にやりたいことは何なのかを考え、アルバイト先の店長さんに背中を押して頂き、保育士として就職しました。この仕事は、想像していたよりとても大変で、先輩方から学ぶことが多い日々です。

そして、もう一つ大きな環境の変化がありました。それは人生初めての一人暮らしです。今まで両親のもとで家事をしてもらっていた生活から全てを一人で行う生活。実家での生活がいかに楽だったかを感じています。不安だった一人暮らしですが思ったより自分でも料理ができたり、掃除ができたり、一人の時間を満喫している毎日です。家事のことで困った時には生まれ育った地元の知人に相談し工夫しながら過ごしています。

バイクに乗ることが趣味なので、これから長い社会人生活、仕事と両立させて、尊敬する先輩方から学びながら、取り組み励んでいきたいと思います。

羽村しらうめ保育園 金子真生